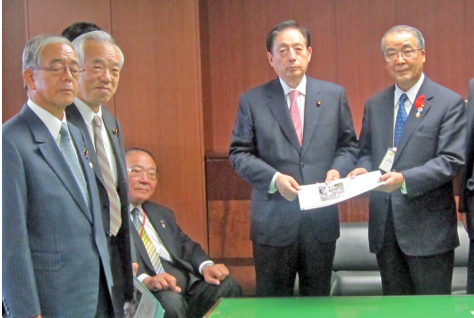


国道34号大村・諫早間4車線化要望

10/30



大 村・諫早両市の官
民で組織する「国
道34号大村・諫早間整備
促進期成会（会長：松本
市長）は、中村県知事らと
ともに、県選出国会議員、
国土交通省、財務省およ
び自民党本部などに対し、
要望活動を行いました。
今回は、太田昭宏国土
交通大臣をはじめ、谷垣
禎一自民党幹事長らと直
接面会し、国道34号大村・
諫早間4車線化の一日も早
い実現に向けて、地元の人
々の思いを届けました。
今後も、県や諫早市と
連携しながら、さらに強く
要望していきます。

国土交通大臣などに
直接要望

市民交流プラザ「プラザおおむら」オープン

11/8

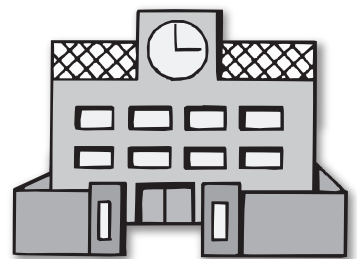


人 と人とがふれあう、
にぎわいの交流拠
点をコンセプトに、「市民交
流プラザ（愛称：プラザおお
むら）」が大村中央商店街
の本陣通りにオープンしま
した。
この施設には、子どもた
ちが楽しく遊べる遊具を
備えた「子ども未来館（愛
称：おおむらんど）」や、約15
0人が収容できるホール、
キッチンスタジオなどを兼ね
備え、子どもからお年寄り
まで、さまざまな世代が交
流できる場所です。
市民の皆さん、イベント、
レクリエーション、サークル、地
域活動などで、ぜひご利用
ください。

市民交流プラザが
堂々オープン！

大村市の全国調査の結果についてお知らせします

小・中学校では、全国学力・学習状況調査（以下、「全国調査」）や標準学力検査などの結果を最大限に活用して、子どもたちの学力の定着、向上に努めています。本年度の調査結果をお知らせします。



平成26年度全国調査の結果

○教科に関する調査

〔実施日〕4月22日(火)

〔参加状況〕小学6年生 1,021人
中学3年生 970人



〔概況〕

- 小学校では計算や図形、中学校では図形や関数の問題が改善し、小学算数A・中学数学A・中学数学Bは、全国平均を上回っています。
- 小学国語A「新聞の投書を読み、適切な表現の仕方を捉えること」、中学国語A「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと」は、全国平均を上回っています。
- ▲国語に関しては、小学校・中学校共に全国平均を下回り、特に国語Bの正答率は、全国平均を約2ポイント下回っています。ただし、問題数、平均正答数に注目すると、ごく僅差と考えられます。

	調査問題	平均正答率(%)		問題数	平均正答数	
		本市	全国		本市	全国
小学校	国語A	72.7	72.9	15	10.9	10.9
	国語B	53.1	55.5	10	5.3	5.6
	算数A	79.8	78.1	17	13.6	13.3
	算数B	57.0	58.2	13	7.4	7.6
中学校	国語A	79.3	79.4	32	25.4	25.4
	国語B	49.1	51.0	9	4.4	4.6
	数学A	68.5	67.4	36	24.7	24.3
	数学B	60.9	59.8	15	9.1	9.0

■学校教育課(内線388)

市では、全国調査をはじめとする各種調査結果を一人一人の子どもたちのために活用することを最優先として、わかる授業、学力が定着、向上する取り組みを学校を挙げて推進しています。

基本的な生活習慣、学習習慣の定着は学力面に大きく影響します。(質問紙調査より※) 各家庭でも家庭教育の役割を再度確認のうえ、学校と協働してお子さまの学力の伸長、よりよい生活習慣の確立に向けた取り組みをお願いします。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。